



# 飛翔 O B 会

同窓会  
報

平成11年3月1日  
第 6 号



## 飛翔 O B 会へようこそ

同窓会会長 熊谷 雄一

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。「開拓」「創造」「協力」という校訓のもとに、母校で三年間学ばれた皆様方が、これから迎える新しい環境の中で、豊かな独創性と、確固たる自立心を持って、大きく飛躍される事を心より期待いたします。そして今後は「同窓会飛翔 O B 会」の会員として母校の為に様々な助言等を頂戴できればと思います。

現代は、情報化の時代とも言われ、確かにインターネット、携帯電話等の情報通信機器の発達、普及率は加速的に進行しております。これらの媒体を積極的かつ有効的に活用し、確かな情報を選択して、視野と活動範囲を大いに広げて頂きたいと思っております。一方に置いて、同じ学び舎を共にした仲間との心の通った交流も忘れる事無く、強固な人的ネットワークの構築に励んで頂きたいと思っております。

尚、本会もホームページを開設致しておりますので、同窓会に対する忌憚のないご意見、メールをお待ちしております。皆様と共に、同窓会がこれから在るべき姿を考えて行きたいと思っております。会員の皆様に置かれましては、常日頃より同窓会活動にご協力頂きまして誠に有難うございます。お除様で本会も本年、四半世紀に当たります。発会二十五周年を迎える事に成りました。そこで本年度は、二十五周年を迎えるに当たっての準備

### 事務局より

- ① 期生会を開催した回生には本部から、補助金 5,000円が支給されますのでご連絡下さい。
- ② 飛翔 O B 会新聞の原稿を募集しております。近況報告等ある方は事務局までご連絡下さい。
- ③ 住所、電話番号、勤務先等に変更がありましたら、はがき又は電話にて事務局までご連絡下さい。

\*同窓会ホームページアドレス <http://www.hi-net.ne.jp/koudai2/>  
 \*事務局 Eメール smys5061@hi-net.ne.jp (住吉)  
 \*入力には半角英小文字をお願い致します  
 \*同窓会事務局 031-0001 八戸市頼家五丁目16-20 住吉治彦方  
 TEL. FAX 0178-46-1571

の年と位置付け、精神的に事業を展開して参りたいと考えております。其の第一段階として、本年度より会員の名簿管理を充実すべく、新機種のコМПЮТЭラを導入し同窓会本部、事務局、関東支部共有の OS とデータファイルを活用し、運営する事に致しました。さらには二十五周年記念事業の一貫として、主な地区に同窓会支部局を充足し、会員の親睦と連携を深め、活動を強化させて行く事を計画致しております。本年度は仙台を中心とした周辺に多数の会員が活躍しているという数年前からの指摘を受け、五月に仙台支部を発送させる予定となっております。

昨年は、母校の多目的新校舎竣工式を始め多数の学校行事に出席し、その場で P T A O B 会会員の方々、P T A O B 会会員の年と位置付け、精神的に事業を展開して参りたいと考えております。其の第一段階として、本年度より会員の名簿管理を充実すべく、新機種のコМПЮТЭラを導入し同窓会本部、事務局、関東支部共有の OS とデータファイルを活用し、運営する事に致しました。さらには二十五周年記念事業の一貫として、主な地区に同窓会支部局を充足し、会員の親睦と連携を深め、活動を強化させて行く事を計画致しております。本年度は仙台を中心とした周辺に多数の会員が活躍しているという数年前からの指摘を受け、五月に仙台支部を発送させる予定となっております。

飛翔 O B 会は会員の皆様と共に二十一世紀に向けて大きく活動を展開して行きたいと思っております。(熊谷漁業(株) 取締役営業部長)

の方々との交流も深めさせて頂きました。そして、まもなく迎える母校の創立三十周年の記念事業に対しましては、両会と連携しながらどの様な支援体制が組めるのか検討して行きたいと思っております。

さて、今日、日本の社会、政治経済は不透明で困難な時代を迎えております。しかし、この様な時代だからこそ、私達若い組織、若い世代にとって、変革の時期到来と考へ、時に訪れる困難、試練をポジティブに捕らえられる若者らしいエネルギーと、不撓不屈の精神を持ち続け、自分達の夢の実現に向けて邁進して行きたいものです。

# 第22期定例幹事会開催する

## 島山先生定年退職

長い間お世話になりました

平成十年三月十五日午後三時より「第二十二期八戸工業大学第二高等学

校同窓会定例幹事会総会」が開催されました。

一昨年の第二十二回同窓会総会に於きまして、決算及び予算案は、定例幹事会総会で、審議、決議することになり今回が初めての会議でもありました。

この日は、四十名による恒例「飛翔OB会」第五号新聞の封筒詰めや、関東支部同窓会案内状、同窓会納涼パーティ案内

状の宛名書き等の作業を行ってからの会議です。

審議は、住吉事務局長が第一号議案、二十二期決算報告と活動報告があり、審議の結果承認されました。

第二号議案、二十三期予算案と活動計画案も満場一致で承認されました。

第三号議案、その他第一議題で、久保沢 清吾さん(2回生)くぼさわ 隆合保険経営が、幹事に満場一致で承認されました。

又、その他第二議題と



島山先生の第二の人生のスタートを祝してスマイル!

一、什器設備の購入を行う。活動の充実を計る。

二、各地区支部の発足

札幌地区、仙台地区、関西地区、階上地区、種市地区、五戸地区、倉石地区、十和田地区、青森市地区、弘前地区等

三、同窓会名簿の発刊

四、仮称「母校支援ゴールド会」の発足

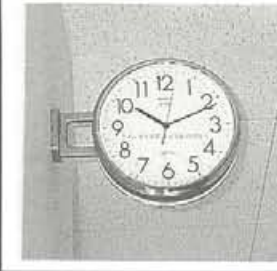
母校支援のメンバーを募り、年会費制にして、そのお金をプールして母校に寄与する会を結成する予定。

以上会議は一時開程で終了し引き続き本年度卒業生の新幹事の歓迎会と、三月三十一日付で定年退職なされた、島山昭副校長先生の慰労会を兼ねて行い、特に島山先生の在学中、化学の

- 三月一日(日) 第二十三期飛翔OB会 入会式 母校体育館
- 三月二日(月) 第二十三回卒業証書授与式出席 母校体育館
- 三月十四日(日) 第二十二期定例幹事会 総会、島山 昭副校長先生定年退職慰労会 八戸パークホテル
- 三月二十日(金) 新校舎建設地鎮祭参列 母校
- 三月二十五日(水) 法人評議員会 八戸グランドホテル
- 四月五日(土) 入学式出席 母校体育館
- 四月十一日(土) 役員会 つほ八
- 五月八日(金) PTAOB会総会出席 八戸パークホテル
- 五月十九日(火)

- 青森厚生年金休暇センター落成式参列
- 八戸市根城の八戸ニユータウンに地上九階、天然温泉を利用した大浴場が備わった宿泊、日帰り保養施設のロビーギャラリーに、本校美術コース生徒の絵画が展示されていますので、ぜひ一度ご鑑賞下さい。
- 五月二十二日(金) 法人評議員会 法人会議室
- 五月二十三日(土) 第二十一回関東支部同窓会 東京都千代田区 ホテル聚楽
- 七月十七日(金) 役員会 榎石上建設会議室
- 八月十五日(金) 役員会、幹事会 第二十三回同窓会 納涼パーティ 八戸パークホテル
- 八月二十二日(土) 役員会、幹事会 さめ八
- \*種村 威史さん (14回生)
- \*竹内 三与さん (19回生)
- \*平野 裕子さん (19回生)
- 三名が幹事として承認されました。
- 九月一日(火) 法人評議員会 八戸グランドホテル
- 任期満了に伴い評議員改選が行われ、住吉事務局長が退任し、熊谷会長が就任しました。
- 九月二十二日(火) 清沢 正氏のPTA活動振興功労者文部大臣賞を祝う会 八戸パークホテル
- 九月二十八日(月)

- 三役会議 同窓会事務局事務室
- 十月七日(水) 役員会 榎石上建設会議室
- この日の会議で正式に仙台支部の発足が決議されました。
- 日時・五月二十三日(日) 初代支部長には、高奥 満さん(14回生)山形大卒、宮城県庁勤務に内定しました。
- 十月十二日(月) 母校新校舎落成式参列 母校新校舎一階工作室 多目的校舎完成に伴い同窓会では、両面時計を三台寄贈しました。
- 十月二十四日(土) 八戸工業大学第一高等学校同窓会出席 プラザアーバンホール
- 十一月二十七日(金) 役員会 榎石上建設会議室



三役会議とは

同窓会運営の決議は、役員会で審議され決定しますが、急用の場合は、会長、専務理事、事務局長三名により合議され後に承認されます。



ピンゴゲームで盛り上がる納涼パーティー

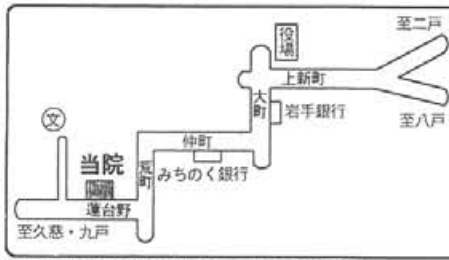
- 十二月十九日(土) 役員会 八戸
- 一月十八日(月) 法人評議員会 八戸グランドホテル

# 会員広場

## 開院 しました



平成十年十一月十一日  
(水) 郷里、軽米町で「ム  
カイダ歯科クリニック」  
を開院しました。治療ユ  
ニ、最新医療機器「ハイ  
ドレーザー」も準備して



おります。微力ながら精一杯地域医療に貢献するように努力しますので、今後共宜しくお願い致します。

(岩手医科大学卒)  
ムカイダ歯科クリニック  
院長 向井田 崇史

〒〇二八八六三〇二  
岩手県九戸郡軽米町  
大字軽米八三三

TEL・FAX (〇一九五)  
四六一四六三六

## ☆☆会員からのメール☆☆

元澤 諭 (22回生)  
美容室でインターンとして忙しく働いています。

江渡 史子 (21回生)  
今年の三月に短大を卒業して就職しました。来年資格をとる為、家では勉強しています。大変です。

久住 知子 (21回生)  
今年の四月から勤めま

担任の先生には進路等で大変お世話になりました。特別老人ホーム

小松 彰 (18回生)  
平成九年四月に浜三沢郵便局より八戸西郵便局

工藤 文一 (12回生)  
五戸支局勤務(一人のみ)も四年目となりました。最近サツカーを始めました。下手ですが。

立花 (橋本) 由紀子 (14回生)  
平成十年六月六日、主人と共にAudio & Camerahouse「音や」を石堂にOpenしました。有限会社音や経営

大平 (山崎) 直子 (7回生)  
十一月の出産に向け、現在ママになる為の準備や勉強に楽しい毎日です。主婦

大橋 (小笠原) ひとみ (6回生)  
結婚してから勤めた事務所も九月一ヶ月もたち、今や古株、と言っても六人しかありませんが、今年十一月で結婚十年、年のたつのも早いものは増えました。坂本税理士事務所勤務

岩崎 司 (6回生)  
アデランスにて美容師として働いております。髪の毛の悩み等ありましたら、連絡下さい。㈱アデランス仙台勤務

加藤 徹 (4回生)  
青森に自宅を建てて、

に転動になりました。八戸西郵便局勤務

松館 (河村) 友加 (16回生)  
現在育児休暇中。㈱長崎屋三沢店勤務

古川 (糸坪) 千恵子 (12回生)  
六月二日に待望の女の子が誕生しました。三月までは育児休業をとって子育てに専念します。大船渡市立 蛸ノ浦小学校勤務

藤崎 (笹本) 真貴子 (8回生)  
十年振りに仕事を始めました。

西村 (武史) (21回生)  
毎日が辛く感じています。が、何とか頑張っています。埼玉県警察学校在学中

十文字良恵 (23回生)  
大学での生活にやっとな慣れてきたところです。盛岡大学在学中

萬徳 (荒谷) 道子 (14回生)  
パートで働いているのですが、正社員並みに忙しい毎日を感じています。

高嶋 一機 (13回生)  
昨春より腰を痛め、水中撮影の仕事が続けられなくなり昨年末をもちまして有限会社アアク・フアイブ・テレビを退職いたしました。

現時点では仕事復帰が難しい状態ですが、今年躍の年です。ウサギと飛躍の年です。ウサギにありと思っております。

※復帰に向けてカンパレ！  
同窓会会員一同  
(平成十年八月現在)  
高嶋氏のみ平成十一年一月現在)

結婚しました  
内田 一也 (0回生)  
都立小学校勤務

## 六回生同期会

### 左 舘 典 昌



平成十一年一月十六日

(土)、八戸よねくらホテルにて第六回卒業生同期会が行なわれました。

今回は、飯田学、熊谷雄一、織笠(旧姓工藤)博美、蛭子泰一、西村英士、

左舘典昌の六名を発起人とし、約五十名程のメンバーが集まりました。

日頃御無沙汰しております恩師の皆様と共に楽しいひと時を過ごしました。

ご多忙にもかかわらず、七名の先生方がご出席下さいました。

私の司会進行で、発起人代表挨拶を熊谷雄一が述べ、引き続き根城正一

根城正一郎先生、片峰幸夫先生、志村功祐先生、島浦千春先生、槻木忠先生(旧姓三浦)、田名部一馬先生、漆館栄一先生。最後に大雪の中をお出かけ下さった皆様、本当にありがとうございます。

(よねくらホテル 取締役営業部長)



卒業写真以来の記念撮影。18年前にタイムスリップ(?)

## 仙台支部発足のご案内

●平成十一年五月二十三日  
(日) 十二時開会

●宮城第一ホテル  
(仙台市宮城野区榴岡  
一―一四十五)  
電話 (〇二二)  
二九一三二〇一

●会費 二千元

## 仙台支部連絡先

千九八六〇七五一  
宮城県本吉郡志津川町  
上の山十一番地  
職員寮一〇五号  
高奥 満  
電話 (〇二二六)  
四六一六〇三〇

電話 (〇二二六)  
四六一六〇三〇

# 八戸工業大学第二高等学校 同窓会規約

# 八戸工業大学第二高等学校 同窓会・同窓会関東支部役員

### 第一条

本会は八戸工業大学第二高等学校同窓会と称しその本部を学校内に置く。

### 第二条

本会は会員の親睦を図るとともに母校の発展に寄与することを目的とする。

### 第三条

会員をわけて通常会員及び特別会員の二つとする。通常会員は本校の卒業生よりなり、特別会員には本校現在の職員および旧職員を推薦する。但し卒業生にあらざるも、かつて本校に在籍した経験を有する者は本人の希望、又は本会の推薦により通常会員となることのできる。

### 第四条

本会には次の役員をおく。

- (一) 会長 一名
  - (二) 副会長 若干名
  - (三) 専務理事 一名
  - (四) 常任理事 若干名
  - (五) 事務局長 一名
  - (六) 事務局長 一名
  - (七) 監事 二名
  - (八) 幹事 若干名
- 役員は総会において選出し、任期は2年とする。

### 第五条

本会に顧問をおくことのできる。顧問は会長との推薦により総会で決定する。

### 第六条

総会は毎年一回開く。但し必要と認める場合は臨時総会を開くことができる。

### 第七条

役員会は会長必要ありと認めるときは、これを開く。

### 第八条

通常会員は母校卒業と同時に会費一万円を納入するものとする。(附則)

本規約は承認の翌日から効力を発する。

一、この規約は昭和五十一年三月八日より施行する。

二、昭和五十三年八月十二日一部改正し施行する。

三、昭和五十八年八月十三日一部改正し施行する。

四、平成六年九月十八日一部改正し施行する。

五、平成八年八月十日一部改正し施行する。

### (同窓会本部)

- 会長 熊谷 雄一 (6回生)
- 副会長 田野岡嗣典 (2回生)
- 事務局長 佐々木睦生 (4回生)
- 事務局長 関野 洋史 (10回生)
- 事務局長 住吉 治彦 (0回生)
- 事務局長 住吉 治彦 (0回生)
- 専務理事 石塚 利孝 (3回生)
- 常任理事 中道 順子 (4回生)
- 常任理事 稲葉 嘉浩 (6回生)
- 常任理事 前野 雅彦 (7回生)
- 常任理事 渡邊 育子 (11回生)
- 常任理事 川端有紀子 (14回生)
- 常任理事 大久保 平 (20回生)
- 常任理事 林上 正憲 (20回生)
- 常任理事 石上 正則 (0回生)
- 常任理事 坂下 淳一 (5回生)
- 顧問 中屋敷貴史 (1回生)
- 顧問 田中 泉 (1回生)
- 支部長 (関東支部) 高森 敏 (4回生)
- 副支部長 市沢 司 (7回生)
- 副支部長 野々村英幸 (7回生)
- 副支部長 小山 真央 (7回生)
- 専務理事 大溝 英之 (7回生)
- 常任理事 西村 英士 (6回生)

### 書記

- 中村 匠秀 (17回生)
- 三浦裕美子 (19回生)
- 滝田志津江 (21回生)
- 梶浦 昌之 (22回生)
- 下山 順之 (12回生)
- 八嶽 貴子 (13回生)
- 渉外 出口 直美 (6回生)
- 植村 昭雄 (10回生)
- 理事 須藤 俊吾 (10回生)
- 理事 柳谷 貴子 (12回生)
- 理事 萬徳 道子 (14回生)
- 理事 増尾 文人 (22回生)
- 理事 山野内寛子 (22回生)
- 理事 佐々木文子 (22回生)
- 特別顧問 住吉 治彦 (0回生)
- 顧問 沼山 秀樹 (3回生)
- 顧問 古沢 正史 (3回生)

## 卒業生からの声

### 「思い出と将来の夢」

五戸美智子

「思い出の工大二高」  
今、過ぎ去りし日々を  
思いおこせば、沢山の事  
が頭の中によみがえり、  
あっとい間の高校生活  
でした。また、三年間休  
むことなく、皆勤賞を得  
ることができました。



厚生年金休暇センターに展示中の作品の数々

どの高校よりも早い四月二日の入学式。慣れない制服を着て、不安いっ

は一人一人を熱心に教えて下さり、心から感謝しています。また、少人数ながら最後まで続けることができたバレーボール部では、苦しい練習にも耐え、一人でも気をぬいてはいけないチームワークの大切さを学びました。これらは、自分を大きく成長させてくれたばかりではなく、今後の生活の大きな支えとなると思います。

将来は、短大で学ぶことになる福祉関係の仕事に就きたいと考えています。そして、二高の卒業生としての誇りを忘れな

生としての誇りを忘れな  
いでいきたいと思いま  
す。

「二高野球部員として」  
三浦 哲平

二高に入学してから、  
あっとい間に三年が過  
ぎました。私は部活が野  
球部だったこともあり、  
高校生活を楽しむ余裕が  
なかったかもしれませ  
ん。

しかし、その野球部で  
多くの事を学びました。  
仲間との信頼関係を築く  
ことの大切さを始め、精  
神面や体力面を本場に鍛  
えることができました。  
その甲斐あって、自分自  
身を大きく伸ばすことが  
できたと思っています。

これまで御指導頂いた先  
生方には色々御迷惑をお  
かけし、本当に言葉では  
感謝できないほどのです。

入学前は、二高にはあ  
まり良いイメージを持っ  
ていませんでした。三年  
間を振り返ってみると、  
本当にこの学校に入学し  
て良かったと、身にしみ  
て感じています。

卒業後は大学生として  
の生活が待っています  
が、二高で教わったこと  
を生かしていきたいと思  
います。最後になりました  
が、これからの人生で二  
高生であったこと、野  
球部の仲間や多くの友人  
達にめぐり会えたことに  
誇りを持って、生きてい  
きたいと思えます。

21世紀にむけて

# 多目的校舎が完成

— 3つのコースの学習拠点 —

昨年三月に着工し半年を経た十月十二日、正門横に新校舎が竣工し、落成式が行われました。今回の同窓会報の第一面を飾る新校舎は、鉄筋コンクリート三階建てで、総床面積一六六五平方メートルの本格的なものです。

この新校舎は多目的校舎と呼ばれ、その名の通り様々な機能を有し、多様化する高等学校の教育内容に十分対応できるものとなっています。そして、昨年度からスタートしたカレッジ・情報ビジネス・美術コースそれぞれ

れの、活動拠点となるものです。

一階部分は第二コンピュータ室と工作実習室が設置されています。これらの設備は、全てのコースが利用できるものですが、主に情報ビジネスコースが管理運営にあたります。

第二コンピュータ室には最新鋭の機器を配置し、高度情報化社会に対応できる学習環境を提供しています。また、工作実習室は情報ビジネスコースで開講されている総合教科（人文社会体験演習・生活環境科学）で利用されます。

二階部分は自由に隔壁が移動できる特別教室が二つ設置されています。一つは各種の集会、夏のゼミナール、放課後講習会などに幅広く利用されています。もう一つは美術コースの三番目のアトリエとして利用されています。

両教室とも十分なスペースが確保されており、最大限二百人までが収容でき、外部講師を招いての講演会にも活用が可能です。

三階部分は第一および第二アトリエが設置されています。特に第一アトリエは、

壁面に大きく窓を取り付けた他、四・五メートルの高さに天井を設けるなど、採光条件に十分配慮してあります。

また、一階には男子二階には女子のシャワー室が備えられており、部活動での合宿や合宿勉強会における不潔さが解消されました。他にもカウンタリングなどに役立つ相談室、従来はアトリエと離れていた美術教官室を三階に設置し、生徒への対応がよりスムーズになるように配慮してあります。

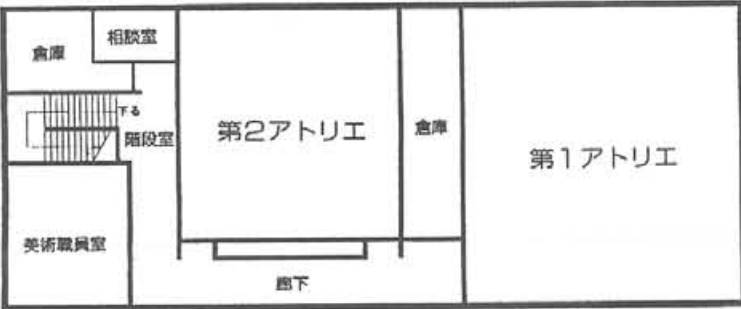
更に、北棟および南棟校舎とは切り離れた暖房

システムを採用し、多目的校舎単独でも十分機能が発揮できるようにしています。

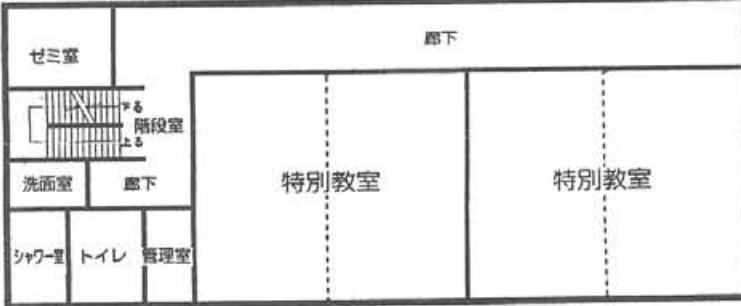
このように多目的校舎は、各コースの特色ある学習活動の拠点としてだけでなく、二十一世紀を展望する二高の象徴的存在となっています。

同窓会からは竣工記念として、両面時計を三個寄贈していただきました。この時計は各階の廊下に設置され、後輩の活動を静かに見守ってくれています。

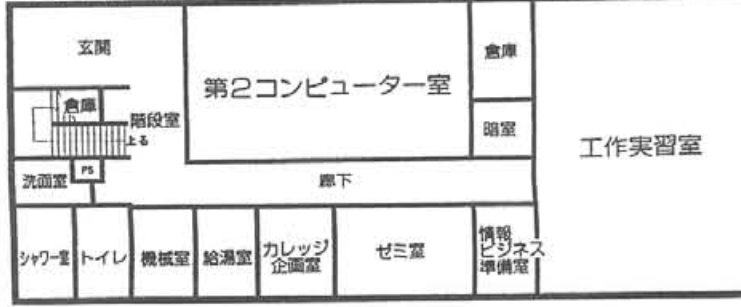
## ▼3階平面図



## ▼2階平面図



## ▼1階平面図



母校の学舎を築立ち、学校の近況を知りたいと思われている会員の方も多いのではないのでしょうか。では、この一年間の二高を振り返ってみましょう。

最初にお伝えすることは、校舎の増築や改築が行なわれたことです。多目的校舎の増築の他、男子生徒も家庭科を学習する関係もあり、調理実習室の改築と器具の一新が図られました。また、北棟校舎一階のアトリエ跡に進路相談室が移動し、広いスペースを確保した上で、資料の閲覧や相談がスムーズにできるように改築が進められています。

二番目にお伝えすることは、部活動の活性化です。運動部や文化部それぞれで、今までの好成績を納める部が増えました。紙面の都合で一部だけしか掲載できないのは残念ですが、思いつくまま挙げてみます。次のようなものがあります。

三八地区高校卓球新人選手権女子ダブルス優勝、女子個人優勝。県高等学校秋季テニス選手権大会男子シングルスベスト4（米国ハワイ派遣選手に選抜）、男子団体準



優勝。青森県四地区高校野球一年生研修会県大会ベスト4。県高等学校ラグビー新人大会Aブロック第3位。県高校総合文化祭演劇部優良賞などがあります。

また、部活動以外でも美術コースを中心に多くの入賞者を出しました。特に第八十一回全国高校野球選手権大会ポスター原画コンクールで、二年生の井沼優薫さんが金賞となり、今年の夏の全国高校野球選手権大会東日本地区ポスターに採用されることとなりました。

このポスターを会員の皆さんはどこかで目にするかもしれません。その時は母校のことを思い出して下さい。

三番目にお伝えすることは学習活動です。今年に限りませんが、以前にも増して合宿勉強会や放課後講習が盛んに行われています。二高の根幹をなす学習活動ですから、各先生方も熱心に後輩を指導し、それぞれの目標達成を応援しています。

まだまだお伝えしたいことはあるのですが、今回はこれくらいで失礼します。今後とも母校への支援をお願いします。

母校の学舎を築立ち、学校の近況を知りたいと思われている会員の方も多いのではないのでしょうか。では、この一年間の二高を振り返ってみましょう。

最初にお伝えすることは、校舎の増築や改築が行なわれたことです。多目的校舎の増築の他、男子生徒も家庭科を学習する関係もあり、調理実習室の改築と器具の一新が図られました。また、北棟校舎一階のアトリエ跡に進路相談室が移動し、広いスペースを確保した上で、資料の閲覧や相談がスムーズにできるように改築が進められています。

二番目にお伝えすることは、部活動の活性化です。運動部や文化部それぞれで、今までの好成績を納める部が増えました。紙面の都合で一部だけしか掲載できないのは残念ですが、思いつくまま挙げてみます。次のようなものがあります。

三八地区高校卓球新人選手権女子ダブルス優勝、女子個人優勝。県高等学校秋季テニス選手権大会男子シングルスベスト4（米国ハワイ派遣選手に選抜）、男子団体準

母校の学舎を築立ち、学校の近況を知りたいと思われている会員の方も多いのではないのでしょうか。では、この一年間の二高を振り返ってみましょう。

最初にお伝えすることは、校舎の増築や改築が行なわれたことです。多目的校舎の増築の他、男子生徒も家庭科を学習する関係もあり、調理実習室の改築と器具の一新が図られました。また、北棟校舎一階のアトリエ跡に進路相談室が移動し、広いスペースを確保した上で、資料の閲覧や相談がスムーズにできるように改築が進められています。

二番目にお伝えすることは、部活動の活性化です。運動部や文化部それぞれで、今までの好成績を納める部が増えました。紙面の都合で一部だけしか掲載できないのは残念ですが、思いつくまま挙げてみます。次のようなものがあります。

三八地区高校卓球新人選手権女子ダブルス優勝、女子個人優勝。県高等学校秋季テニス選手権大会男子シングルスベスト4（米国ハワイ派遣選手に選抜）、男子団体準

FMしようよ!



# FM 76.5MHzで開局



平成十一年一月一日午前十一時十分、八戸市民の身近な情報FMラジオ局「BeFM」が、八戸市八日町に開局されました。周波数は、「七十七・八・五メガヘルツ」で、北は百石町、南は階上町位までほぼ八戸全域が聴取可能です。この放送局は、七年間を費やして、八戸商工会議所青年部の皆さんの尽力により、むつ市に次いで県内2番目の開局です。

番組は、二十四時間放送ですが、月曜日から金曜日の朝・昼・晩の各2時間の生番組で、ニュースや天気予報はもちろんですが、ゴミの収集日・交通渋滞情報・行政や民間の各種イベントの紹介等八戸地域に密着した情報を届けている頼もしいFMラジオです。

特に、朝・昼・晩三回特集で放送している「南部弁講座」は、私達に昔の八戸の言葉の思い出させてくれ、面白いです。

## 本校卒業生 二名も活躍中

この生番組のキャスターは、三十人の公募から選ばれた女性三名と、テレコム八戸の男性社員一名の計四名です。その中の二名が本校出身で、内一人は、唯一男性キャスターの中田匠さん(14回生)です。彼は、京都花園大学卒業後、テレコム八戸に就職して携帯電話の販売をしていました。この事業部に配属され、キャスターの仕事に就くとは思わなかったそうですが、今までの経験を生かし、色々な情報を発信したいと息込んでおりました。

彼の番組は、毎週金曜日の午前十一時半から二時間放送の「8・8・8 RADIO」を担当して

そうです。全くアナウンサー経験もなくしかも南部弁まる出だった自分が合格するとは、夢にも思わなかったそうです。二年間NHKで十八時から十九時まで「夕方一時間の音楽番組」を担当して悪戦苦闘の毎日だったそうです。

その頃八戸に、近々FMラジオが開局される情報があり、NHKを退社して郷里に帰ってきまして、FMラジオ開局の話などが全くなく、落胆しましたが、昨年募集があるまで、四年間家事手

伝いをしながらこの日まで待ったそうです。昨年、デリー東北新聞でFMラジオ開局のニュースを知り応募して入社したそうです。

二高での三年間は、初めの半年間は、県立高受験に失敗して挫折を味わった暗かったのですが、毎日通学しているうちに、一人、一人友達ができ、また熱心に教鞭を合せていた先生方と触れ合っているうちに、今置かれている環境で一生懸命努力することが大切だと考えるようになり、失敗を考えず何事にも全力で取り組んで行こうと思うようになったそうです。今の自分があるのも二高在学三年間で得た貴重な青春時代ののお蔭と、自称松田聖子の瞳に似ている彼女です。毎朝、目覚めの時間に爽やかな声で放送する番組はとて面白いです。

二人共、毎日番組制作の取り組みに余念がないそうです。選曲が大変悩みの種とか。最後に、多くの皆さんに楽しんで放送をしているので聞いてほしい。そして、どしどしリクエスト下さい。リクエストは、電話(〇一七八) 七二一三三三九 Fax 七二一三三三六 ですので宜しくお願いますとの事でした。皆さん、ぜひ聞いて意見も寄せて下さい。

## 同窓会本部より 平成十年度同窓会幹事決定

- 平成十年度卒業生(第二十四回生)の中から、十五名の同窓会幹事が選出されました。
- 毎年、選出された幹事の皆さんには、関東支部総会や八戸で行われる同窓会納涼会の運営の手伝いをお願いしています。これらの会の参加者の多くは、その年の三月に卒業した新会員が中心となっています。従って、一般の新会員の皆さんにお願いしたいことは、積極的にこれらの会に参加し、幹事の負担を軽減してあげて下さい。
- 同窓会は設立二十五周年にむけ、組織の改革と会員名簿の改訂に取り組み始めました。しかし、これらの事業は、会員一人一人の協力がなければ形だけのものになってしまいます。
- 同窓会の案内を郵送しても音信不通の会員も多く、同窓会活動の現状を理解していただけているのか、不安は尽きないところですので。今回の同窓会会報は、会員全員に郵送することになっていきます。是非、記事に目を通していただき、卒業後の母校の様子と同窓会活動に少しでも関心を払っていただければと思います。宜しくお願いします。
- 会費 二千元
- 平成十一年八月十四日(土)十八時開会
- 八戸パークホテル(八戸市吹上二丁目十五一九十)
- 電話(〇一七八) 四三一一一一
- 第二十四回同窓会納涼パーティー
- 平成十一年八月十四日(土)十八時開会
- 八戸パークホテル(八戸市吹上二丁目十五一九十)
- 電話(〇一七八) 四三一一一一
- 会費 二千元
- ホテル聚楽(東京都千代田区神田淡路町二一九)
- 電話(〇三) 三二五一七二二二
- 会費 二千元
- 第二十二回関東支部総会
- 平成十一年五月二十二日(土)
- 十七時四十分開会
- 八戸地区幹事)
- |    |       |
|----|-------|
| 一組 | 太田 利  |
| 二組 | 吉田 卓哉 |
| 三組 | 笹本 博之 |
| 四組 |       |
| 五組 | 赤坂重紀子 |
| 六組 | 谷崎日出紀 |
| 七組 | 馬場 匠  |
| 八組 | 上坂 洋  |
- (関東地区幹事)
- |    |       |
|----|-------|
| 一組 | 工藤 香澄 |
| 二組 | 門前 智久 |
| 三組 | 中里 達志 |
| 四組 | 三浦恵利子 |
| 五組 | 堀込 美香 |
| 六組 | 村口佳菜子 |
| 七組 | 立花 宏美 |
| 八組 | 佐々木彰子 |